

あぶしん景況レポート

2021年7～9月期



あぶくま信用金庫
総合企画部

Vol.5 2021.10 発行

当地区の概況

【業種別天気図】

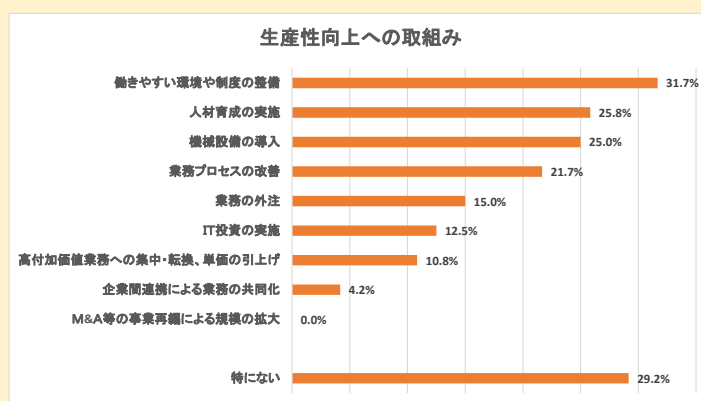
調査対象:120社

業種別	総合	製造業	卸売業	小売業	サービス業	建設業	不動産業	総合 D.I.
2021年 4～6月								▲ 17.5
2021年 7～9月								▲ 28.3
2021年 10～12月 (見通し)								▲ 22.5

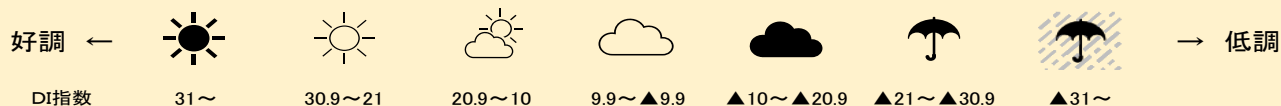
- 2021年7～9月期(今期)の業況判断D.I.は▲28.3と、前期比10.8ポイントの悪化となった。業種別にみると、小売業においては前回調査で業況判断D.I.が30ポイント改善していたが、今期は▲52.4と前期比47.6ポイントの大幅な悪化となった。
- 2021年10～12月期(来期)の予想業況判断D.I.は▲22.5と、今期より5.8ポイント改善する見込みだが、サービス業は5.0ポイントの悪化が見込まれる。

特別調査 - 中小企業の雇用環境について -

- 人材確保が難しくなるなか、生産性向上への取組みとして、「働きやすい環境や制度の整備(31.7%)」が最も高く、次いで「人材育成の実施(25.8%)」となった。それに対して、「特にない」が29.2%となった。業種別では、製造業で「機械設備の導入」、建設業で「業務の外注」が最も高かった。



【業況判断天気図】



業況判断D.I指数は「良い・やや良い」と回答した割合から「悪い・やや悪い」と回答した割合を差し引いて算出した数値です。

詳しくは<あぶしん>
各支店へ!



携帯・スマートフォンの方はQRコードを!
情報満載、ホームページをご覧ください。

あぶしん <http://www.abukuma.co.jp/>



製造業

業況判断D. I.

調査対象：20社

		良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	D. I.
今期 (7-9月)	予想	5.0	25.0	35.0	20.0	15.0	▲ 5.0
	実績	0.0	25.0	15.0	40.0	20.0	▲ 35.0
来期 (10-12月)	予想	5.0	25.0	20.0	40.0	10.0	▲ 20.0

業況判断 D. I. は今期(実績) ▲35.0 となり、今期(予想) を 30.0 ポイント下回った。経営課題については「原材料高」、「生産能力の不足」、重点経営施策として「人材確保」と回答する企業の割合が増加した。

○経営課題

(単位：%、複数回答)

項目	今期	前期
1 売上の停滞・減少	50.0%	55.0%
2 原材料高	45.0%	35.0%
3 人手不足	30.0%	30.0%

○重点経営施策

(単位：%、複数回答)

項目	今期	前期
1 販路を広げる	45.0%	60.0%
1 経費を節減する	45.0%	45.0%
3 人材を確保する	40.0%	20.0%

卸売業

業況判断D. I.

調査対象：18社

		良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	D. I.
今期 (7-9月)	予想	5.6	5.6	61.1	27.8	0.0	▲ 16.7
	実績	5.6	5.6	44.4	33.3	11.1	▲ 33.3
来期 (10-12月)	予想	5.6	11.1	44.4	27.8	11.1	▲ 22.2

業況判断 D. I. は今期(実績) ▲33.3 となり、今期(予想) を 16.6 ポイント下回った。経営課題として「売上の停滞・減少」、「同業者間の競争」と回答した割合が前回の2倍となったことが、D. I. 悪化の要因と思われる。

○経営課題

(単位：%、複数回答)

項目	今期	前期
1 売上の停滞・減少	66.7%	31.6%
2 同業者間の競争の激化	44.4%	21.1%
3 利幅の縮小	33.3%	26.3%

○重点経営施策

(単位：%、複数回答)

項目	今期	前期
1 販路を広げる	66.7%	63.2%
2 経費を節減する	50.0%	47.4%
3 情報力を強化する	38.9%	42.1%

小売業

業況判断D. I.

調査対象：21社

		良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	D. I.
今期 (7-9月)	予想	0.0	9.5	52.4	33.3	4.8	▲ 28.6
	実績	0.0	4.8	38.1	42.9	14.3	▲ 52.4
来期 (10-12月)	予想	0.0	9.5	38.1	28.6	23.8	▲ 42.9

業況判断 D. I. は今期(実績) ▲52.4 となり、今期(予想) を 23.8 ポイント下回る大幅な悪化となった。経営課題としてあがった「販売商品の不足」が「売上の停滞・減少」につながり、D. I. 悪化の一因になったと思われる。

○経営課題

(単位：%、複数回答)

項目	今期	前期
1 売上の停滞・減少	57.1%	40.0%
2 販売商品の不足	23.8%	20.0%
2 商圏人口の減少	23.8%	15.0%

○重点経営施策

(単位：%、複数回答)

項目	今期	前期
1 経費を節減する	42.9%	60.0%
2 売れ筋商品を取扱う	19.0%	25.0%
2 店舗・設備を改装する	19.0%	20.0%
2 品揃えを改善する	19.0%	15.0%

サービス業

業況判断D.I.

調査対象：20社

		良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	D.I.
今期 (7-9月)	予想	0.0	10.0	45.0	35.0	10.0	▲ 35.0
	実績	0.0	30.0	30.0	15.0	25.0	▲ 10.0
来期 (10-12月)	予想	0.0	25.0	35.0	25.0	15.0	▲ 15.0

業況判断 D.I. は今期（実績）▲10.0 となり、今期（予想）を 25.0 ポイント上回った。今回の調査では、現場の人員不足や、専門職の人材確保に苦慮しているとの声も聞かれた。

○経営課題

（単位：％、複数回答）

	項目	今期	前期
1	売上の停滞・減少	50.0%	60.0%
2	人件費の増加	30.0%	30.0%
2	人手不足	30.0%	25.0%

○重点経営施策

（単位：％、複数回答）

	項目	今期	前期
1	販路を広げる	45.0%	60.0%
1	経費を節減する	45.0%	35.0%
3	人材を確保する	30.0%	20.0%

建設業

業況判断D.I.

調査対象：21社

		良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	D.I.
今期 (7-9月)	予想	4.8	4.8	66.7	23.8	0.0	▲ 14.3
	実績	9.5	14.3	33.3	38.1	4.8	▲ 19.0
来期 (10-12月)	予想	4.8	9.5	52.4	28.6	4.8	▲ 19.0

業況判断 D.I. は今期（実績）▲19.0 となり、今期（予想）を 4.7 ポイント下回った。今後、受注増加の見込みはあるものの、人員確保が課題だとする声が上がっている。

○経営課題

（単位：％、複数回答）

	項目	今期	前期
1	人手不足	52.4%	42.9%
2	同業者間の競争の激化	42.9%	38.1%
3	売上の停滞・減少	38.1%	52.4%

○重点経営施策

（単位：％、複数回答）

	項目	今期	前期
1	人材を確保する	66.7%	52.4%
2	販路を広げる	52.4%	47.6%
3	技術力を高める	38.1%	33.3%

不動産業

業況判断D.I.

調査対象：20社

		良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	D.I.
今期 (7-9月)	予想	0.0	5.0	80.0	15.0	0.0	▲ 10.0
	実績	0.0	0.0	80.0	20.0	0.0	▲ 20.0
来期 (10-12月)	予想	5.0	5.0	65.0	25.0	0.0	▲ 15.0

業況判断 D.I. は今期（実績）▲20.0 となり、今期（予想）を 10.0 ポイント下回った。来期（予想）は▲15.0 となり、今期実績比 5.0 の改善を見込んでいる。今期は、経営課題として「利幅の縮小」をあげる企業が増加した。

○経営課題

（単位：％、複数回答）

	項目	今期	前期
1	売上の停滞・減少	40.0%	40.0%
2	利幅の縮小	30.0%	5.0%
3	同業者間の競争の激化	25.0%	25.0%

○重点経営施策

（単位：％、複数回答）

	項目	今期	前期
1	経費を節減する	30.0%	15.0%
2	情報力を強化する	25.0%	20.0%
3	販路を広げる	20.0%	25.0%

全国の概況

【全国業種別天気図】

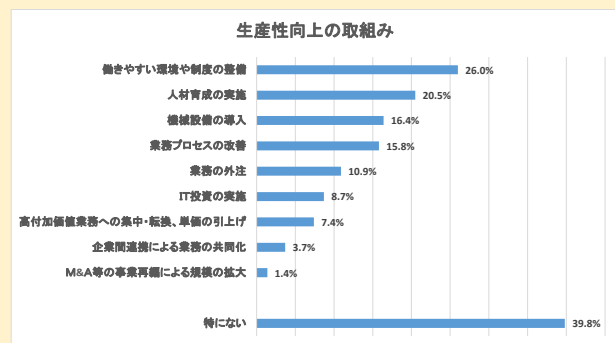
回答社数: 13,734社

		総合	製造業	卸売業	小売業	サービス業	建設業	不動産業	総合 D.I.
全国	2021年 4~6月								▲ 31.6
	2021年 7~9月								▲ 29.1
	2021年 10~12月 (見通し)								▲ 26.9
東北	2021年 7~9月								▲ 33.0

- 全国の2021年7~9月期（今期）の業況判断D.Iは▲29.1、前期比2.5ポイント改善と、厳しい水準の中で2四半期続けての改善となった。2021年10~12月期（来期）の予想業況判断D.I.は▲26.9と今期実績比2.2ポイントの改善を見込んでいる。
- 東北地区の2021年7~9月期（今期）の業況判断D.Iは▲33.0と、前期比2.2ポイントの改善となった。2021年10~12月期（来期）の予想業況判断D.I.は▲32.0と今期実績比1.0ポイントの小幅改善を見込んでいる。

特別調査 - 中小企業の雇用環境について -

- 人材確保が難しくなるなか、生産性向上への取組みとして、「働きやすい環境や制度の整備（26.0%）」が最も高く、次いで「人材育成の実施（20.5%）」となった。業種別では、製造業で「機械設備の導入」の割合が高かったほかは、全業種で「働きやすい環境や制度の整備」と回答した企業が最も多かった。



全国の調査員からのコメント

- ウッドショックや鋼材値上げなどの悪材料が多い。（建築金物卸売、新潟県）
- 現場作業員が不足しており、高齢者や外国人の受入れを実施している。（総合ビル管理、岩手県）
- 半導体不足の工場稼働への影響はしばらく続く。（汎用機のエンジン部品製造、静岡県）

【調査要領】

1. 調査時期 2021年9月
2. 調査方法 原則として、全国の信用金庫営業店の調査員による面接聴取りによる感触調査
3. 分析方法 業況判断D.I.は、「良い・やや良い」とした企業が全体に占める割合と、「悪い・やや悪い」とした企業の割合との差(判断D.I.)を中心にして分析を行った。
4. 対象企業 回答企業のうち従業員20人未満の企業が約7割を占めるなど、比較的小規模な企業が主体となっている。

本レポートは、標記時点における情報提供を目的としています。したがって、投資等についてはご自身の判断によってください。また、本レポート掲載資料は、信頼できると考える各種データに基づき作成していますが、正確性および完全性を保証するものではありません。